

2023 年度学友会会長 就任あいさつ

学友会会長就任にあたり、三木市高齢者大学及び学友会の沿革について少し述べさせていただきます。

三木市高齢者大学は、昭和 58 年 5 月に兵庫県老人大学講座みき学園として開設され、昭和 63 年 4 月から三木市老人大学として独立。更に平成4年4月から「三木市高齢者大学」と名称を変更して今日に至っています。また、平成19年に大学院が創設され、現在までに入学者は 2,644 名、卒業生は 2,110 名となっています。

学友会は、三木市高齢者大学卒業生で組織され、相互の親睦と社会貢献を理念に平成16年に結成され、現在の学友会・会員数は、16 期生から 30 期生までの 348 名となっております。

学友会の活動はグラウンド・ゴルフ大会から始まり、日帰り旅行、清掃ハイキング、総会をはじめ、高大との交流事業である体育祭、グラウンド・ゴルフ、大学祭など、年間を通して学友会活動が活発に行われておりました。

しかしながら、3 年前の 2020 年 1 月 20 日に横浜港に入港したダイヤモンド・プリンセス号に端を発して、新型コロナウイルスのパンデミックにより、学友会の事業活動が制約され、感染ピーク時には人が集まる全ての事業活動が中止となりました。

昨年あたりからようやく制約がありながら、社会活動も動き出し、本年5月8日には国際ウイルス分類が 2 類から5類に変更されます。

一方、その影響があつてか、高齢者大学の入学生が大きく減少し、自治会活動も大きく制約され、事業活動を縮小、簡素化、中止する事態となりました。

学友会の活動も同様な事態となりました。

そういう中であって、今後の学友会活動については、先輩方が築いてこられた学友会の伝統を踏まえつつ、高齢者大学自治会と連携しながら、現状に対応した事業を、相互の親睦と社会貢献にむけて行ってまいり所存です。

2023年度の学友会の運営は、28期役員が責任学年となり、28, 29, 30 期17名で構成される準備役員会で良く打ち合わせを行い、役員会に諮りながら事業を進めてまいります。

皆さまの絶大なるご支援とご協力をおねがいいたします。



2023 年度 学友会会長 西垣正秀